

立命館大学国際平和ミュージアム 2020年度春季特別展

放射線像 / Autoradiograph

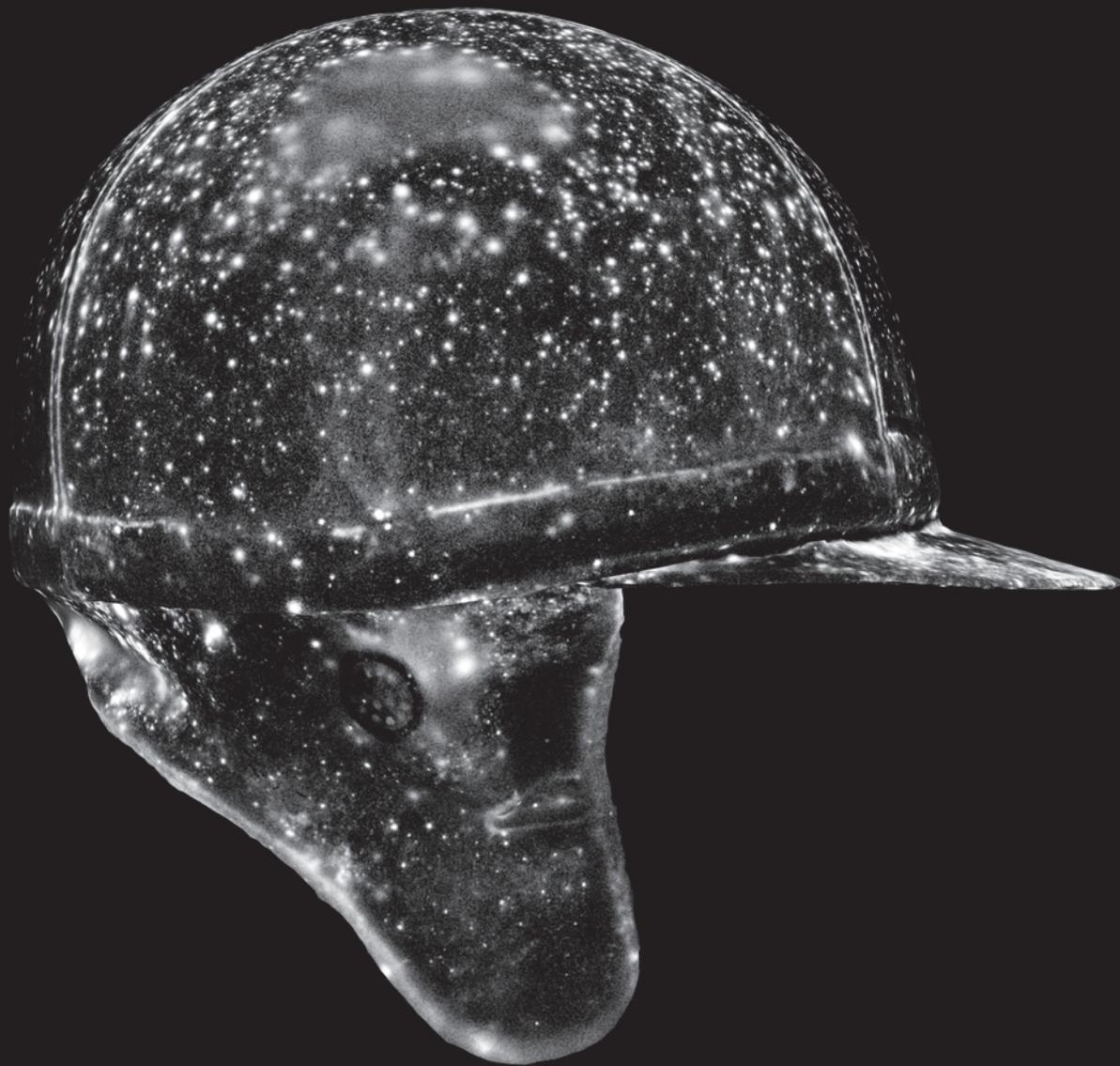


Photo: Masamichi Kagaya

2020年4月18日(土)～6月27日(土)

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今後の展示・イベント企画を急遽延期もしくは中止させていただく可能性がございます。詳細はホームページやTwitterにてご確認ください。

立命館大学国際平和ミュージアム1階 中野記念ホール

開館時間 9:30～16:30(入館は16:00まで) 休館日 日曜日、4月30日(木)、5月6日(水) ※無料公開 5月16日(土)

入館料 大人 400円(350円) / 中・高校生 300円(250円) / 小学生 200円(150円)

※()内は20名以上の団体料金 ※常設展見学可

主催：立命館大学国際平和ミュージアム

協力：加賀谷雅道、森敏(東京大学名誉教授)、KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭、スターチャンネル

後援：京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都市内博物館施設連絡協議会、KBS京都、朝日新聞社、京都新聞、毎日新聞社京都支局、読売新聞大阪本社、NHK京都放送局

KYOTO

GRAPHIE

international

photography festival

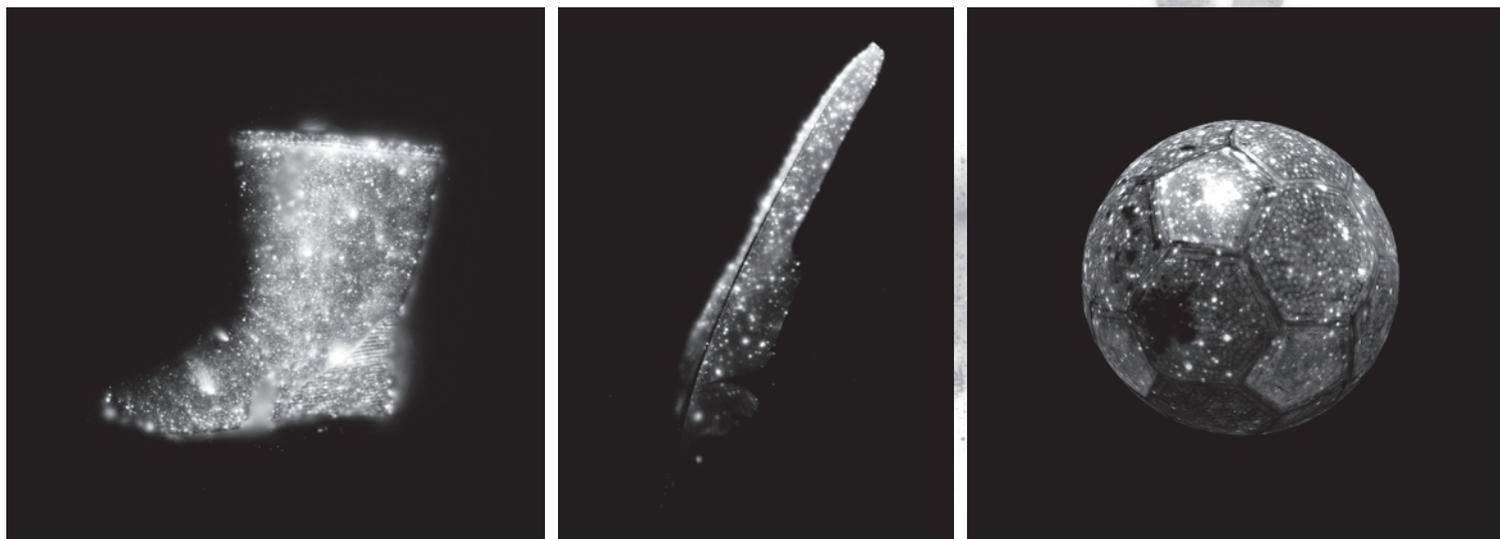
KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭 2020
アソシエイテッドプログラム

問い合わせ先：〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1
TEL 075-465-8151 FAX 075-465-7899
URL <https://www.ritsumeikan-wp-museum.jp/>

立命館大学
国際平和ミュージアム
Kyoto Museum for World Peace,
Ritsumeikan University

日本平和博物館会議
京博連

放射線像 / Autoradiograph



放射能を可視化する

2011年3月の東日本大震災に起因する福島第一原子力発電所事故により、大量の放射性物質が放出されました。映像作家・加賀谷雅道氏は、2012年より事故後から放射能の可視化に取り組んできた森敏氏とともに放射線像プロジェクトを開始し、見えない汚染の実態を伝える作品を発表しています。生態系への汚染の深刻さを伝える科学と報道としての側面と汚染と向き合う現代社会を象徴する芸術としての側面を併せ持つ氏の作品は、ルモンドなど海外の雑誌にも掲載され、アルスエレクトロニカ2017 栄誉賞(2017年、オーストリア)、京都国際写真祭2017 富士フィルムアワード(2017年)など、世界の芸術祭で受賞しています。本展では、福島や関東で採取した生物や日用品などの中に存在する放射性物質をオートラジオグラフィーの手法によって可視化した作品約30点と3D映像の他、撮影に使用したサンプルや調査の様子を紹介する映像を展示します。

Photo: Masamichi Kagaya a: 長ぐつ b: 羽 c: サッカーボール d: ヒノキの葉と実 e: 洗濯ばさみ 背景: 足跡 表面: 通学用ヘルメット



【関連企画】

加賀谷雅道氏ギャラリートーク「放射線を可視化する方法とその意味について」
4月18日(土) 13:30-14:30 立命館大学衣笠キャンパス(京都) 国際平和ミュージアム特別展会場

森敏氏講演会
5月9日(土) 14:00-15:30 国際平和ミュージアム 2階会議室

安齋育郎氏(立命館大学国際平和ミュージアム 名誉館長・工学博士) 講演会
6月13日(土) 13:30-15:00 国際平和ミュージアム 1階ロビー

2011年、私はどうにかして放射能汚染を視覚的な記録として残せないものかと試行錯誤を繰り返していました。これまで「黒い雨」「死の灰」といった言葉や、「ベクレル」「シーベルト」といった数値で表現されていた放射能を視覚的な映像として記録に残すこと、それは日本にいる誰かが今やらなければならないことであり、それは不可能なことではないだろうと確信を抱いていたのです。

加賀谷雅道
映像作家

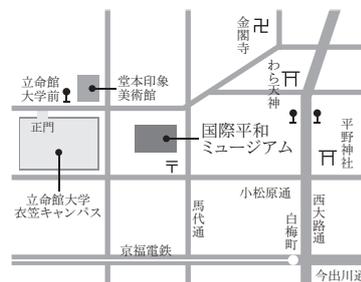


起こりうる次回の大規模な原発事故に備えるには、何がどれくらいどのように汚染をするのかをビジュアルな映像として世界の人々には頭の中に収蔵しておく必要がある。この放射線像を、日本ばかりでなく、世界の原発周辺の保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、果ては大学までも、教養教育の教材に使って頂ければ望外の喜びです。

森敏
植物栄養学/東京大学名誉教授



新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今後の展示・イベント企画を急遽延期もしくは中止させていただく可能性がございます。詳細はホームページやTwitterにてご確認ください。



【交通案内】

市バス 12・15・50・51・52・55・59・M1、JRバスにて「立命館大学前」下車 徒歩5分
市バス 204・205にて「わら天神前」下車 徒歩10分 ※お車での来館はご遠慮ください